

熊本県特別支援教育の現状

熊本県特別支援教育研究会

会 長 鶴田 由美

1 はじめに

熊本県特別支援教育研究会は、小中学校の特別支援学級や通級指導教室の会員が所属する12の支部と、17校の知的障害特別支援学校で組織されている。会員数は、小中学校の特別支援学級の増加と、知的障害特別支援学校の新設に伴い増加し、2000人を超えている。

ここ数年、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため運営面での苦勞が絶えなかった。しかし、研究会のHPを刷新し、組織や事業の在り方について検討・改善を行うなどの工夫を重ね、昨年度は九特連熊本大会（兼夏季研修会）をオンラインで開催することができた。

今年度はこれまでのやり方を変えて、一昨年コロナのためできなかった夏季研修会を昨年度の九特連大会同様オンラインで開催する予定である。新しい形での研修会を実現することで、これからの本研究会の充実・発展を図りたい。

2 特別支援学級、通級指導教室の設置状況（令和3年度）※令和4年度については調査中

種 別	小 学 校			中 学 校			計		
	設置校	学級数	人数	設置校	学級数	人数	設置校	学級数	人数
知的	292	403	1964	139	166	727	431	569	2691
自・情	293	481	2642	134	190	1075	427	671	3717
難聴	33	33	46	14	14	20	47	47	66
病弱・院内	54	54	81	25	29	37	79	83	118
肢体不自由	78	78	117	36	36	43	114	114	160
弱視	6	6	6	7	7	9	13	13	15
言語通級	15	24	258	0	0	0	15	24	258
難聴通級	2	3	7	1	1	4	3	4	11
自・情通級	14	17	186	2	2	18	16	19	204
L・A通級	46	48	713	17	18	203	63	66	916

※病弱学級は、熊本市内の病院内学級は「院内学級」という。

3 特別支援学校の設置状況（令和4年度）

特 別 支 援 学 校		小 学 部	中 学 部	高 等 部	高等支援	計
知的障害 教育校	設置校	12	12	13	3	17
	学級数	123	81	87	56	347
	人数	515	362	560	434	1871

※令和3年度知的障害支援学校2校開校

4 令和4年度 熊本県特別支援教育研究会事業計画

月	全 体 的 内 容
4	・組織編制 各支部事務局会
5	・評議員会

6	・合同委員会 ・HP による書面総会
8	・県特研夏季研準備（分科会動画撮影等）
10	県特研夏季研修会（HP による開催）
2	・合同委員会 ・評議員会
3	・「あゆみ」第 62 号 HP 掲載

5 熊本県特別支援教育の推進について

○本県特別支援教育取組の方向

共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システムの構築を目指して

- ①一人一人の教育的ニーズに応じた指導・支援の徹底
- ②関係機関との連携強化による切れ目ない支援の充実
- ③職員の特別支援教育に係る資質と専門性の向上

○特別支援学校の新設

- ・平成29年度 熊本市立平成さくら支援学校（高等部）
- ・平成31年度 熊本県立熊本はばたき高等支援学校
- ・令和 2年度 熊本市立あおば支援学校（小中学部）
- ・令和 3年度 熊本県立かもと稲田支援学校（小中高等部）
- ・令和 3年度 熊本県立鏡わかあゆ高等支援学校

○研究活動の充実と推進

- ・令和2年度 県特研夏季研修会 → 新型コロナウイルス感染症拡大のため中止
- ・令和3年度 九特連熊本大会（令和3年8月5日～6日）※WEB 開催
大会主題 「10年後を見据えた特別支援教育の推進」
～新しい時代に求められる教育とは～
- ・令和4年度 県特研夏季研修会 オンラインを使った研修会に移行
分科会改変（9 分科会→7 分科会）、HP 公開による研修会
（予定）7 月 レポート掲載および質問募集
8 月 動画撮影、編集
10 月 HP で公開